

わか 鷹 たか



巡視開始



巡視中に出会った硬式野球部の生徒たちと（中土手町）

ねぶたまつり巡視 8/1



夏の夜空を彩る弘前ねぶたまつり。初日の8月1日、PTA役員と教職員の総勢29名でねぶたまつり巡視を行いました。集合後、まずは写真をパチリ。弘南鉄道大鰐線の中央弘前駅をスタートし、2つのコースに分かれて、鍛冶町、下土手町から中土手町までを巡視。途中、情報技術科の生徒やボクシング部・硬式野球部の生徒たちと出会い、挨拶を交わしながら安全に観覧するよう呼びかけました。巡視後の報告会では状況を報告し、情報交換を行いました。巡視にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。（文責 神）

第1回 登校指導を終えて 7/1

生活指導委員長 岸 瑞穂



今年度も2回の登校指導を計画し、第1回は予定通り7月1日に実施しました。汗ばむ程の日差しの中、登校する生徒の皆さんは交通ルールを守り、元気な挨拶で清々しい気持ちになりました。参加された役員の方々、先生方のお陰で無事終了することができました。



新坂下 五叉路交差点付近にて

ご協力頂いた関係者及び保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。今後に計画されている委員会活動についても一層のご協力をよろしくお願い致します。



新入生代表宣誓
情報技術科の正藤さん

情報技術科一年 工藤 萌夏
弘前工業高校に入学してしばらく経ち、高校生活にも慣れてきました。主要五教科に加え、高校から学び始めた専門教科の勉強にも慣れて楽しく感じるようになりました。卒業後の進路の幅を広げるためにも、一年生のうちから勉強を頑張ろうと思います。また楽しい思い出を沢山作って、充実した三年間にしたいと思います。



新入生入場 電気科(左列)・建築科(右列)

入学式

目次	(1) ねぶたまつり巡視・登校指導・入学式	(2)・(7) 県高校総体
	(3)~(4) 運動会	(5) PTA活動報告
	(6) 遠足	(8) 挨拶・役員紹介・編集後記

黄鷹63号 令和7年9月30日
発行 弘前工業高校父母教師会
印刷 やまと印刷(株)
在籍数 男子512 女子89 計601名
<https://www.hirosaki-th.asn.ed.jp/>
題字 吉澤 葉子(環香)

多くの作品で学んだこと

電子科二年 神 遥斗

放送部はラジオドキュメント部門で県二位となり、NHK杯全国高校放送コンテストに出場しました。私が全国大会に参加するのは二回目ですが、今年もどの部門もレベルが高く、たく

さんのことを学ぶことができました。どの作品も普段の学校生活で身近な題材を取り上げ、面白おかしく展開していきながらも最後にはちゃんとテーマがありました。私もそんな番組を目指して頑張ります。(部長)



大会に参加した神さん(左)と西澤さん 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都 7月21~24日)

全国大会を終えて

電気科三年 一戸 優真

七月二十六日、私は香川県高松市で行われた全国高校総合文化祭に参加しました。作品ではトンボの目を赤色や白色などを使って強調させて描くことができました。

交流会では香川県の郷土玩具、張子を制作しました。張子を作りながら、いろいろな県



出品した作品の前で 一戸さん

高校生とコミュニケーションをとることができました。本大会を通して芸術に対する関心をより一層、高めることができました。



交流会 張子制作の様子

成長の糧となった競技大会

情報技術科三年 坂本 夕弦

私は八月三日から四日の二日間、若年者ものづくり競技大会のITネットワークシステム管理職種に参加しました。この種目では、PCでネットワークに繋がったり、ウェブサイトをメールを閲覧



ITネットワークシステム管理職種 出場した坂本さん

できる ように するた めの設 定をし ます。 先生の 協力の

もと、日タルータ設定とサーバ構築の練習を重ねてきました。結果は何とか敢闘賞に滑り込むことができましたが反省点が多く見つけたので、今後の自分の成長の糧にしよう、これからこの競技に出場する一、二年生へのサポートにも繋げていきたいです。

※三浦さんと下村さん(ロボットソフト組み込み職種)も敢闘賞を受賞。

若年者ものづくり競技大会とは二十歳以下の若年者が、技能向上と裾野拡大を図る目的で毎年開催される若年者もの

づくり競技大会。今年も青森県職業能力開発協会の推薦を受けて、本校から四名の生徒が県代表として三職種に挑戦しました。(文責 神)



(左から)坂本さん、佐々木さん、三浦さん、下村さん いずれも三年情報技術科)香川県高松市 あなぶきアリーナ香川にて

八甲田山に登って

電子科三年 石岡 拓真

私は登山部の活動を通して様々なことを学びました。各大会に向けてランニングなどの体力づくりから登山知識の筆記対策など、文武ともに力を入れてきました。

大会ではタイムを競う行動技術や登山中の行動やマナーなどの生活技術の各種目が審査されます。今大会は概ね良い記録を出すことができ、学校対抗で第三位、団体では読図技術で第二位、生活技術と



新体操部 団体県第2位



バドミントン部



サッカー部



タイム計測中(右より)若間さん、板垣さん、相馬さん、石岡さん

行動技術で第三位でした。三年生は高校総体で引退しましたが、後輩の皆さんが良い記録を出して、安全に登山ができるよう心から祈っています。(部長)



テント設営 メンバーとの運携や手順、強度など生活技術を競う登山部



柔道部



陸上競技部



硬式野球部

総体

宣誓~!!



- 青 : 機械科
- ピンク : 電気科
- 黄 : 電子科
- 赤 : 情報技術科
- 水色 : 建築科
- 黒 : 土木科

6/10

運動会

『弘工乱舞』

借りた先生をオンブしてGO!
(障害借りもの競争)



つぶれる~

部活動対抗リレー

総合優勝 土木科



台風の目だつてー



何回とべた~!?
(大縄跳び)



息を
合わせて



台風の目



クラスリレー



電子科、頑張るゾ~!



いつも仲良し♡
(障害借りもの競争)

生徒会も
がんばってます!



借りものを手伝う
MCたち



ピース♡



暑さに
負けず
やったれ~

科対抗綱引き 機械科優勝!



PTA仙台大会 東北大会

7/1(火)～2(水)

「見つけよう 個を生かす時代のPTA活動」
～一緒に探しませんか？多様性の時代にできること

PTA副会長 佐藤 進治



第74回東北地区高等学校PTA連合会仙台大会に参加してきました。プログラム冒頭、令和6年度広報誌コンクール入賞校の表彰があり、本校「黄鷹」第61号が奨励賞を頂きました。また、会場ロビーには入賞校の広報誌が展示され、「黄鷹」第61号も他校PTA関係者に閲覧されており、本校PTA活動が評価されている事を大変うれしく思いました。

基調講演は、弘前市出身で小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーを務めた川口淳一郎氏で、同じ弘前出身として大変誇りに思いながら聞くことができました。講演は「やれる理由こそが着想を生む」と題し、不可能と思える状況でも「やれる理由」を探る姿勢が、新たなアイデアを生み、失敗を恐れずトライすればエラーが成功になることもある、と分かりやすくお話しくださしました。調べてみると「やれない理由」は現状維持や消極的な判断になりやすく、「やれる理由」は前向きな発想や行動の原動力になるようです。私自身も「やれる理由」を探しながらPTA活動を継続していきたいと思えます。



8/21(水)～22(金)

PTA三重大会 全国大会

出会はじまる常若のくに ～「集い、想い、継ぐ」三つの重なる明日への力～

PTA監事 築館 賢

本大会は8月21日・22日に三重県津市で開催されました。初日はアトラクションから始まり、開会式・表彰式が行われた後、分科会が4つの会場で行われました。私は「これからのPTA活動を考える」という分科会に参加致しました。レモンさん(山本シュウさん)が講師で「これからのPTA活動にどう取り組むのか」という趣旨でした。PTA活動には「5つの得(徳)」が必要である。①情報(力・身を助ける)、②会話(コミュニケーション)、③友人(地域の繋がり)、④感動(子育て・隣人愛)、⑤愛(子ども、隣人)

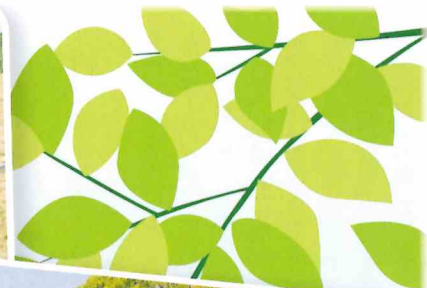
親御さん・学校・地域がお互い様、お蔭様、お世話様の気持ちで、優しく熱い、カッコイイ大人に支えられた子どもたちが「生きる力」も身につけるものであるというお話で、非常に勉強になりました。

2日目のアトラクションでは、三重県立相可高等学校の食物調理科・調理クラブの活動が放映されました。この高校は調理師免許が取得でき、実践教育施設としてレストランを運営しています。店舗は、地元の工業高校建築科の生徒と話し合って設計したそうです。調理師になる夢に向かって一所懸命に学ぶ生徒たちの姿に感無量でした。俳優の松岡昌宏さんが主演されたドラマ「高校生レストラン」のモデルとなった学校です。会場には調理クラブの生徒さんが作ったドレッシングや弁当、三重県立水産高校の生徒さんがつくった缶詰が販売されており、もちろん迷わず購入致しました。

記念講演の講師は、三重県津市に本社がある井村屋(株)代表取締役会長、中島伸子さんでした。中島さんは前身の会社でアルバイトをした後、正社員になりました。当時、女性ドライバーが少なかった4tトラックの配送担当から営業職を経て、支店長、副支社長、社長となった経歴の方です。講演の内容は、思いつきのアイデアも軽んじず、耳を傾けること。多様な考え方が最も重要な時代であり、物事も見方次第ではチャンスにつながる。発想の多様性が会社を成長させる。そのため、色々な考え方が必要で、会社では個人の独自性を大切にしている。360度、さまざまな角度で物事を見ることが、企業も人も必要であるという。また、「ありがとう」が自然に言えないと後悔することがある。社会人になっても言えない人がいる。親御さんが日ごろから「ありがとう」と言っていると、それが子どもにも自然と伝わる。相手への尊敬は明日の力になる。いつも自身の手の中に夢を持つことの重要性を子どもたちに伝えていかなければならないというもので、非常に良い大会でした。



3学年
岩木青少年
スポーツセンター



笑顔が
ステキ



2学年
鱒ヶ沢
キャンプパーク



遠足
5月20日 火

BBQ
最高!



ピース♡

1学年
八甲田
憩いの牧場



はっけよーい……

ソーレ!



出場大会全国

大舞台を経験して

土木科三年 福土 璃人

私は七月二十七日から三十一日の四日間、岡山県玉野市で開催されたボクシング競技のインターハイに参加しました。広島県の崇徳高校の選手と対戦し、結果は敗戦しましたが、全国大会という大舞台に立てたことは、とても良い経験になりました。応援ありがとうございました。



インターハイ ボクシング競技ライト級 福土さん(右) 玉野市総合体育館 7月31日

ボウリング部に入学して

建築科二年 佐藤 愛羅

私は、高校に入学してからボウリング部に入部しました。中学ではバレーボールをしていましたが、中学時代に友達とよくボウリング場に行き、とても楽しくて、本格的に上手になりたいと思い、入部しました。

入部して最初に感じたことは先輩方の投げ方がすごくカッコよく、見たことのないフォームで、片手投げの人もいれば両手投げの人もいました。とてもスコアが高く、練習について行けるか不安になるほどビックリしたことです。

勝敗に対するこだわりや信念から、やはり大会になると緊張はします。でも、やるからには一位を目指し目標を立てて試合に挑み、良い結果でも悪い結果でも自分の課題点



団体戦・2人チーム戦 県第1位 富澤さん

(部長)

を見つめ、次の大会に向けて一層努力し、結果を出したいと思っています。

そして、ボウリング部で十分に活動できているのは家族のおかげです。とても費用がかさみ家族に怒られることもありませんが、それでも自分が今一番したいボウリングをやらせてくれているので、とても感謝しています。この感謝の気持ちを次の大会の結果と共に伝えたいので、これからも全国で活躍できるように一層頑張りたいと思います。

インターハイを終えて

機械科三年 伊東 莉風

バレーボール部は六月の県高校総体で優勝し、インターハイ出場を決めることができました。三年生の応援ありがとうございました。三年生の応援ありがとうございました。インターハイベスト16を目標に練習し、精一杯戦いました。結果は不甲斐なく予選敗退でしたが、全国レベルとの実力差やチームに何が足りないかなど多くの課題が明確になりました。次の大会に向けてこれらを克服し、目標を達成できるように全員で頑張るので、今後も応援をお願いします。

(部長)



インターハイにて



県高校総体にて

弓道部で学んだこと

電気科三年 佐々木興太

私は弓道競技を通じて、体配(射場の入退場の動作、射法八節の作法)や礼儀について学ぶことができました。高校から弓道を始めた私は体配を覚えるのに苦労しました。弓道は礼に始まり礼に終わる競技なので、道場の入退場時の挨拶、神棚や国旗への礼、射の前後の礼など様々な決まりがあり、周囲との調和も求められます。ここで学んだ礼儀作法を生かし、社会に出てからも周囲の人との関係をうまく構築し、協力して仕事をしたいです。

後輩の皆さん、日々の練習を通じて的中を上げて大会に臨めるように頑張ってください。応援しています。

(部長)



弓道 団体戦(左から) 佐々木さん、浜谷さん、三上さん



テニス部



軟式野球部

西東北大会を終えて

建築科二年 金持 佑京

私は七月三十日に山形県鶴岡市で開催された全国高校軟式野球選手権西東北大会に参加し、秋田県代表の能代高校と対戦しました。結果は敗戦し、東北大会のレベルの高さをあらためて実感しました。この敗戦から学ぶことは多く、勝つための技術や立ち回り、味方との連携の大切さを試合を通して痛感しました。自分には、あと一年時間が残っています。今大会での悔しさを原動力に、次は勝利を掴み取るために限られた時間の練習を常に全力で取り組み、一人一人の技術やチームプレイを向上させて、これからの試合に挑んでいこうと思います。

(副部長)



バスケットボール部

高校



卓球部

将来への大きな財産



校長 工藤 和樹

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動に御理解と温かい御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は、二百十名の新生を迎え、全校生徒六百二名で新たなスタートを切りました。一学期を振り返りますと、様々な行事や取り組みを通して、生徒たちは大きく成長してくれました。

六月に開催された運動会では、保護者の皆様にもスタンドから御観覧いただけたいことを大変嬉しく思います。あの日は夏日予報の暑さとなりましたが、クラスTシャツに身を包んだ生徒たちの暑さに負けず、懸命に競技に取り組み、応援するその姿は、私たち教職員にとっても感動的でした。

高校総体では、バレーボール部、ボウリング部、ボクシング部が見事優勝を飾り、東北大会、そして全国大会へと駒を進めました。どの選手も日頃の練習の成果を発揮し、最後まで諦めない素晴らしいプレーを見せてくれたことに、心から拍手を送ります。さらに、本校の情報通信関係の資格取得者が多かったことが高く評価され、総務省東北総合通信局より、令和七年度「電波の日」情報通信月間」記念式典において表彰されました。また、情報技術科は国際イノベーター

シオンコンテストにおいて、国内四位に入賞するなど、各学科がそれぞれの分野で着実に力をつけ、輝かしい成果を上げています。

国際交流を進めている台北市立大安高級工業職業学校へは、来る十二月に本校生徒が台湾を訪問する予定です。この貴重な機会を通して、生徒たちが国際的な視野を広げ、多様な文化に触れる経験は、将来への大きな財産となると確信しております。台湾からの訪問は来年度になりますが、再会を今から楽しみにしております。

このように、生徒たちが充実した学校生活を送り、多方面で素晴らしい成果を収めることができるのは、ひとえに保護者の皆様の温かい御理解と御支援、そして日頃からの深い愛情と支えがあってこそと、改めて深く感謝申し上げます。



国際イノベーションコンテスト、国内第4位「トイレの神様ペーパーくん」

PTA会長インタビュー



笑顔で答える工藤会長

Q1 会長になったきっかけは？

A1 入学式後の役員決定で、副会長のポストが最後まで空いていました。そこが決まらないと帰れないので副会長になりました。三年時には会長になるという流れで会長を引き受けました。

Q2 PTA活動で大変なことは？

A2 東北大会・全国大会は仕事の都合で出られないので、副会長にお願いすることで対応してきました。ですから大変だと感じたことはありませんね。

Q3 PTA活動を通して感じることは？

A3 私自身、十年以上かけて電気工士の資格を取って仕事をしていますが、子ども（電気科）にも頑張って資格を取

て欲しいという思いがあります。工業高校は教員や施設設備に恵まれていますので、親子一緒になって頑張りたいと思っています。

Q4 最後に保護者の皆様にお伝えしたいことは？

A4 PTA研修会は、全保護者に案内して欲しいと思っています。学校における子供たちの活動や進路について、先生方や保護者の皆様と時間を気にせず情報交換ができる場なので、役員に限らず参加してほしいですね。



インタビューの様子

PTA役員会 6/16

総勢49名が参加し、弘前パークホテルで開催されたPTA役員会。役員改選の後、各委員会（総務・生徒指導・広報）に分かれて今年度の事業について話し合いました。その後、全体会議で各委員会の事業計画案を報告しました。続いての懇親会では賑やかに情報交換が行われました。



PTA役員紹介



会長	代 治	E3
副会長	藤 進	M2
副会長	藤 義	C1
副会長	藤 館	A3
副会長	安 田	A2
副会長	小 野	E1
3学年委員長	富 澤	M3
2学年委員長	山 本	M2
1学年委員長	三 浦	M1
総務委員長	富 澤	M3
生徒指導委員長	岸 瑞	E3
広報委員長	山 崎	B3

編集後記

● 毎回、賑やかに楽しく取り組んでいます。関わるすべての方に感謝します。(S・Y) ● 普段は見られない学校での子どもたちの活動の様子をたくさん知ることができました。(A・M) ● 歴史ある黄鷹の編集作業に携わることができたのは思い出に残ります。(I・K) ● 三年間ありがとうございました。広報委員会活動に携わることができて楽しかったです。(U・O) ● 広報メンバーの皆さん、いつも頼ってばかりで申し訳ありません。大変お疲れ様でした。(H・K)